

ござってえ 便り 129

上山市まちづくりセンターござってえは、まちづくりについて考え、市民活動を応援するための拠点施設です。上山市が運営しています。毎月、上山に関わる市民活動取材し、本誌で紹介しています。「まちづくり情報室」HPでも様々な情報を発信しています。上山市まちづくりセンターござってえ <http://kaminoyama-machisen.jp>

〒999-3153 山形県上山市十日町 1-3 電話/FAX 023-673-2020 10:00-12:30 13:30-18:00 月曜日 2013年10月15日発行



おどりだし

江戸時代の祭りの伝統を守る「上山温泉踊り山車振興会」

江戸時代、上山では、祭礼が栄え、絢爛豪華な山車や行列が次々に繰り出されていきました。それから250年以上の月日が流れた今も、手踊りの飾り屋台「踊り山車」として、上山の「風流」や「いなせ」の文化を伝え続けています。踊り山車振興会事務局の小松正明氏にお話を伺いました。

江戸時代から続く上山の大衆的なお祭り

踊り山車は、1752年（宝暦2年）に誕生したと言われ、町の若者が屋台を組み、大きな牡丹花を飾り担ぎ歩いたことが評判となったことから始まった上山の伝統的な祭です。娯楽の少ない当時の人々の楽しみで、明治・大正時代まで、京都の祇園祭のような数メートルの山屋台や数台の飾り屋台、人形屋台、芸者を載せた踊り屋台と、趣向を凝らした演出で、まちに賑わいと華やかさをもたらしていました。

あでやかな「舞の屋台」として復活

昭和38年を最後に祭は途絶えていましたが、上山青年会議所と上山温泉踊り山車振興会の尽力により、「踊り山車」は再興し、今年で35年目を迎えます。現在では、地元の日本舞踊の「赤堀つるもろ車中」と「やまがた舞子」が2台の踊り屋台「いろは組」「上山若連」で市内を練り歩き、舞を披露しています。山車の担ぎ手は当振興会メンバーと地元の消防団などです。

上山の貴重な祭をこれからも

「踊り山車」は私たちのまちの歴史と文化を伝える貴重な祭です。年配の方には昔を懐かしんでいただき、若い世代の方も使命感をもって活躍してほしいと思います。今年の秋も上山の風流な祭「踊り山車」をぜひ楽しんで下さい。

♪上山の若衆は良い若衆 うさぎうさぎ何見てはねる♪などの上山の小唄やお囃子、十数曲以上の舞踊が山車上で練り広げられる。



- 第35回ふるさと秋祭り「踊り山車」**
 日時：9月15日（日）
 出発式：11：30
 十日町やぐら前にて
 ●スタート 12：00
 ●十日町通り 13：00
 ●湯町・足湯前 13：30
 ●かみのやま温泉駅 12：45
 ●市役所前 14：55
 ●葉山温泉街 16：20
 ●カミン前 19：10
 ●新湯温泉街 21：00

道幅の狭い城下町に合わせた工夫ある造りの山車。